

# 第71号

## お も な 記 事

- 平成30年度全国学力・学習状況調査 1面
- 教育委員就任のごあいさつ 2面
- 文化財の被害と修復について 2面
- 教育支援センターの紹介 3面
- 市文化賞・スポーツ賞表彰 3面
- 八幡幼稚園の取組 4面

発行：八幡市教育委員会 平成30年(2018年)11月20日  
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>



授業の内容がよく分かると答えている児童生徒の割合が増えており、各校で、授業のユニバーサルデザイン化や、主体的・対話的で深い学びによる授業改善がなされた

全国学力・学習状況調査・質問紙調査の結果より

	小 学 校		中 学 校	
	平成19年度	平成30年度	平成19年度	平成30年度
自分には良いところがあると思いますか	約 65%	→ 約 82%	約 67%	→ 約 81%
家で学校の宿題をしていますか	約 94%	→ 約 97%	約 69%	→ 約 94%
学校の決まり(規則)を守っていますか	約 80%	→ 約 82%	約 81%	→ 約 94%
算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	約 76%	→ 約 81%	約 58%	→ 約 72%
国語の授業の内容はよく分かりますか ※1	約 71%	→ 約 72%	約 66%	→ 約 79%

※1「国語の授業の内容はよく分かりますか」は、平成30年度には設問がないため、平成29年度の結果です。

### 質問紙調査より

全国学力・学習状況調査が開かれた平成19年度と、平成30年度の結果を比べると、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、左の表のような結果になりました。

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果

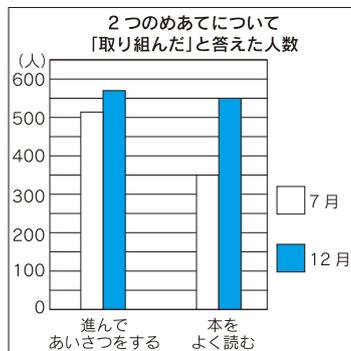
文部科学省による全国学力・学習状況調査が、今年も四月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました。教科に関する調査では、3年ごとに実施される理科の他に、国語と算数・数学は、主としてA問題(「知識」に関する問題)とB問題(「活用」に関する問題)が実施されました。例年同様、生活、学習環境などに関する質問紙調査も行われました。

成果が表れてきたと考えられます。また、自己肯定感や宿題、学校の決まり等、学習を downstream する児童生徒の意識でも肯定的な回答が増えました。

### 教科に関する調査より

八幡市全体としては、全国平均を上回った領域もありましたが、小学校、中学校ともに全体としては全国平均を下回りました。小学校、中学校で共通した課題が見られたのは、次のような問題です。

- メモ1
- ・「進んであいさつをする」 約 570 人
  - ・「本をよく読む」 約 550 人
- メモ2
- ・「進んであいさつをする」 約 50 人
  - ・「本をよく読む」 約 200 人



メモ1とメモ2は、それぞれグラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを言葉や数を使って書きましょう。

### 調査結果を踏まえて

課題等を踏まえ、学習支援員等を活用した指導や少人数指導、発展的、補充的な学習などの個に応じた指導を引き続き実施し、授業改善や、教職員の授業力の向上の研修に取り組み等、学力の向上を目指します。

また、保護者の皆様や地域等の御理解と御協力のもとに十分連携をとりながら、放課後における学習習慣や生活習慣の改善に向けた取組を進めていきたいと考えています。

(学校教育課)

## 教育委員就任のごあいさつ



教育委員  
ひとみ ひとみ 氏  
人見 妃都美

この度、八幡市の教育委員を拝命いたしました人見妃都美と申します。

私は幼稚園のPTAで会長をさせて頂きました事をきっかけに、教育に関するこの様な大きな仕事に携わることができ、嬉しく思っています。

子どもたちと一緒に様々な行事を過ごした中で、どの子どもそれぞれの個性があり、皆同じではない事を強く感じました。また、一人ひとりが尊厳存在であり、日々学び成長している姿も実感しました。私は子どもたち皆が笑顔で暮らせる様に、それぞれの輝く個性を伸ばすお手伝いができればと思っています。

私自身、教育職の経験はなく、我が子の教育においても未熟で毎日奮闘しておりますが、保護者としての目線に立ち、私に出来る最大限の事をしていきたいと思っています。また、その事で八幡市の教育に貢献できればと思っています。微力ながらも精一杯頑張っている所存でございますので、至らない点につきましてはご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い致します。

## 現在の教育委員会の構成

(平成30年11月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	谷口 正弘	3年 平成32年4月1日まで
委員(職務代理者)	松下 順英	4年 平成32年12月23日まで
委員	橋本 陽生	4年 平成34年10月30日まで
委員	佐野 恵理子	4年 平成32年7月31日まで
委員	人見 妃都美	4年 平成34年3月31日まで

## 委員の退任

平成22年4月1日から2期8年間委員として就任していただきました布日有希子氏は、平成30年3月31日付で退任されました。

(教育総務課)

## 災害による文化財の被害と修復について



9月の台風21号による石清水八幡宮境内での倒木

八幡市には、国宝「石清水八幡宮本社」をはじめとする指定、登録などの文化財が93件あります。今年度の相次ぐ災害は、これらの文化財に大きな被害をもたらしました。

国指定の史跡「石清水八幡宮境内」では、6月の大阪府北部を震源とする地震により、石灯籠の多くが倒壊、破損しました。また、9月の台風21号により、境内地全域で倒木が起これ、参道の一部は未だ通行できない状態が続いています。

国指定の名勝「松花堂及び書院庭園」では、6月の地震により、園内の石灯籠が倒壊、破損し、書院「玉座の間」の鴨居が落下するなどの被害がありました。

そのほか市内の社寺等においても、多くの文化財が地震、豪雨、相次ぐ台風により被災しました。

八幡市では、文化財の被災状況の把握・情報収集に努め、被害の状況を鑑みながら、関係機関と共に現地調査を行う一方、国や京都府などの支援を受け、被災文化財等の復旧・復興に取り組んでいます。

歴史を振り返ってみても、八幡市は決して災害が少ない地域ではありませんでした。近年でも、平成24年8月の大雨により石清水八幡宮境内で石垣の崩落や大規模な土砂崩れが発生していますが、被災から3カ年にわたる復旧事業を経て、境内は元の姿を取り戻しました。

人びとがこの地で自然と対峙しながら、守り伝えた多くの貴重な文化財を、未来へ伝えていけるよう、文化財保護行政を進めてまいります。

(文化財保護課)



6月の大阪府北部を震源とする地震による松花堂書院での被害

## 教育支援センターの紹介

全国の多くの地方自治体では、教育支援センター（適応指導教室）を設置しています。八幡市でも平成24年度から八幡市教育研究所を発展的に再構築し、八幡市教育支援センターとして活動し、7年目を迎えています。

八幡市教育支援センターは、主に三つの機能を備えています。一つ目は、子どもや保護者の方の多様な教育相談に応じるため、臨床心理士によるカウンセリングやプレイセラピーを行っていることです。面接相談や遊戯療法の遊びを通して悩みの解消や心身の回復を図っています。

二つ目は、学校へ行けなくなっている子どもが“さつき教室”に通い、または家庭訪問を通して、学習支援や心のエネルギーを高める活動、カウンセリング等を受けています。このような活動を通して、心の悩みを解消し、そして、学校へ通えるようになること、最終的には社会的に自立できる力の育成を目指して支援しています。特に中学生は、進路保障に向けて学校、家庭と連携をとりながら多様な支援と指導を行っています。

三つ目は、特別支援教育の推進です。様々な障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を進めるために、学校等への支援を行っています。また、教育支援委員会の事務局として、夏の地域学校の運営や、学校・保護者への啓発活動、就学相談等を行っています。

こうした機能をより効果的に進めるために、教育相談や“さつき教室”に通ってくる子どもの課題解決に向けて、大学の先生の専門的な助言を受け、発達的な視点も合わせて具体的な支援の方向を検討して実際の指導や支援、教育相談を進めています。

特に不登校につきましては、文科省の調査によると、ここ20年間でその数が1.4倍に増加しています。さらにここ数年間は不登校児童・生徒が増加傾向にあります。不登校は、早期発見、早期対応が重要と言われています。教育支援センターでも、学校としっかり連携を図りながら、八幡市の不登校解消に向けて取り組んでいきたいと考えています。



(八幡市教育支援センター TEL075-982-3001)

## 八幡市文化賞・ スポーツ賞の表彰

平成30年11月3日（土・祝）八幡市文化センターにおいて、八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰式が行われ、小学生・中学生が対象となるジュニア賞では17人の児童生徒が受賞されました。  
受賞者は次のとおりです。

(敬称略・順不同)

### 【文化賞・個人】

▽大堀明香（男山三中・書道）

### 【スポーツ賞・個人】

▽由井仁之介（橋本小・レスリング）▽由井詠葉（橋本小・レスリング）▽榎村愛羅（くすのき小・柔道）▽才田恵梨香（さくら小・柔道）▽日垣翔心（美濃山小・柔道）▽福田よい（男山東中・柔道）▽澤木月椋（八幡小・空手）▽下山真由（男山三中・剣道）▽瀧野未来（男山東中・陸上）▽大椋雄登（男山東中・陸上）▽松村拓海（男山中・バドミントン）▽濱本莉輝（男山三中・ソフトテニス）▽中尾侑貴（男山三中・ソフトテニス）▽玉井創太（男山三中・ソフトテニス）▽武内天良（男山東中・ソフトテニス）▽亀崎穂花（男山東中・バトントワリング）

(社会教育課)

自ら意欲的に活動する幼児をめざして  
—豊かな言葉をはぐくむための遊びについて探る—

## 八幡幼稚園の取組

八幡幼稚園では、今年度、八幡市公立幼稚園・こども園教育研究会公開保育の指定園として「自ら意欲的に活動する幼児をめざして—豊かな言葉をはぐくむための遊びについて探る—」という研究テーマの基に研究を進めています。

近年、情報化の急激な発展により、直接体験する機会や人との関わりの中で自分の思いを表現しながら遊ぶ機会が減少しています。そこで、遊びの中で豊かな言葉をはぐくむことに視点を当て、環境を工夫し、援助の在り方を探ってきました。この研究で一番大切にしたいことは、話したくなる相手がいるということです。どんなことでも受け入れてくれる教師や安心できる友達がいる、ということが重要



です。次に、話したいことがあるということです。そのために、直接体験ができる環境の工夫の一つとして、砂場やごっこ遊びで使う道具を取り出しやすく整理をすることで、幼児たちが自分から遊び出すようになってきました。また花びらや葉を使っての色水づくりや石鹸を削っての泡づくりや洗濯ごっこをすることで、何をどの位使えば色水になるのか、自分の思ったようなフワフワの泡になるのかなど、試したり、確かめたりし、次にどうなるのだろうと、遊びを見通しながら自分の考えを伝え合うようになってきました。



幼児は、絵本の読み聞かせを通して言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします。そこで、園の絵本を家庭に持ち帰り、家庭で読んでいただけるように絵本の環境も見直しました。

今後も、絵本の読み聞かせの大切さを啓発しながら、幼児が自分の思いを伝えたいと思えるような環境を共につくり、豊かな言葉をはぐくんでいけるように取り組んでいきたいと考えています。

(保育・幼稚園課)

### 不登校など児童・生徒に関する教育相談

- 教育相談（電話・面接相談） 平日（月曜日～金曜日） 午前10時～午後5時  
市内在住の幼・小・中学生とその保護者の相談に応じています。  
学校または教育支援センターに直接申し込み、ご予約下さい。

### 不登校児童・生徒支援

- カウンセラーによる教育相談や教育支援教室でサポートします。  
※市内の小中学校に在籍する児童・生徒が対象です。
- 教育支援教室「さつき」  
個別・小集団での活動や学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。  
【教育支援センター】所在地：八幡市男山笹谷2 電話：075-982-3001